



楽しく子育て!

～香川県立図書館 子育て支援コーナー通信～

第175号

発行日

2022年3月19日

毎月19日は、「かがわ育児の日」

★司書のオススメ本～3月の新着図書から～

『子どもから話したくなる「かぞくかいぎ」の秘密』
玉居子 泰子／著 白夜書房／刊 2022.2

「かぞくかいぎ」とは、色々なテーマで、家族みんなで話し合うもの。テーマは「家事分担」、「親子げんか」など、ご家庭によって多種多様でよいとのこと。

著者によると、「かぞくかいぎ」で、親が子どもの話をちゃんと聞くことを心がけていると、普段あまり自分から話さなかった子どもが、自然と話をしてくれようになったそうですよ。

最近子どもとの会話が上手く行かないと思っている親御さんにもオススメです。



『オートミールのパン&スイーツ おいしくて、しかも痩せちゃう!!』
幸の食べ痩せ食堂／著 KADOKAWA／刊 2022.2



オートミールは、食物繊維、ビタミン、鉄、カルシウムなどを含む栄養価の高い穀物で、ダイエットにも有効だそうです。

オートミールをそのまま食べるのは苦手という方も、パンやお菓子に入れると、素朴で香ばしい風味になって食べやすいので、コロナ太りを解消したいという方は挑戦してみてもいかがでしょうか。

<3月の新着図書～新しくこんな図書が入りました～> () は棚番号と内容です。

(支援1-4 離乳食)

・『365日のフリージング離乳食』
川口 由美子／著 西東社／刊

(支援1-5 育児エッセイ)

・『親になってもわからない』
深爪／著 KADOKAWA／刊

(支援2-1 家事)

・『がんばりすぎない家事の時短図鑑』
田中 ナオミ／著 エクスナレッジ／刊

(支援2-2 お弁当)

・『楽しく作って毎日おいしいこどものおべんとう』
野上 優佳子／著 成美堂出版／刊

(支援2-4 虐待予防)

・『虐待リスク』上野 加代子／著 生活書院／刊

(支援3-4 子どもの心)

・『僕の児童精神科外来の覚書』
田中 康雄／著 日本評論社／刊

(支援3-5 不登校)

・『子どもが不登校になっちゃった!』
ラン／著 すばる舎／刊

(支援5-1 特別支援教育)

・『発達が気になる子の子育てお悩み相談Q&A』
発達協会／編 中央法規出版／刊

(支援5-2 家庭教育)

・『親は9割お世話をやめていい』
イゲツト千恵子／著 WAVE出版／刊

(支援5-5 子どもと読書)

・『子どもとつながる「お話」の魔法』
シルカ・ローズ・ウエスト、ジョセフ・サロシー／著
NHK出版／刊

●県立図書館の子育て支援コーナーの図書は、県内のお近くの市町図書館等から取り寄せができます。詳しくはお近くの公共図書館へご相談ください。

季節のお役立ち本 ～企画展示の本から 子どもにお片付けを教えるのに役立つ本～

「子どもにお片づけを教えるのは難しい。」「教えてもなかなか片付けられるようにならない。」などと思っている親御さんは多いのではないのでしょうか。

昨年開催した子育て支援講座で、整理収納教育士のわきやさゆり先生にお聞きしたところ、片付けとは「使った物を物のおうちに戻すこと」とのこと。種類やよく使うものなどで仲間分けして、物のおうちを作り、子どもに返す場所がはっきり分かるようにしてあげれば、片付けをしやすくなるとのことでした。

この春から、家族みなでお片づけマスターをめざしませんか？



『子どもが片づけしたくなる104のアイデア おうち子育てのヒントいっぱい!』
小堀 愛生／著 文化学園文化出版局 2020.6

本書には、小学生のいる家と乳幼児のいる家、それぞれの家の片づけの悩みとその解決方法が写真とともに分かりやすく紹介されています。

例えば、小学生のお子さんのいる家の「種類の同じおもちゃがどんどん増えてしまい、片づかない」というお悩みの解決方法は、専用ケースにコレクションのようにディスプレイし、収納したらよいとのこと。こうすることで、物への愛着と管理能力を高められるそうです。他にも誰でも気軽にできる収納アイデアが満載ですよ！

●現在開催中の企画展示「お部屋づくりで、リフレッシュ！～親子でおそうじ・お片付け～」には、他にもこんな本があります。

- ・『片づけられない主婦と片づけ嫌いの子どもを180度変える本』 藤原 友子／著 マガジンランド／刊
- ・『家族の片づけルール 笑顔と会話が増える』 江間 みはる／著 ベストセラーズ／刊
- ・『3歳からできるお片づけ習慣』 伊東 裕美／著 日本実業出版社／刊
- ・『小学生のおかたづけ育』 Emi／著 大和書房／刊
- ・『男の子がひとりのできる「片づけ」』 中村 佳子／著 KADOKAWA／刊



<子育て支援担当より>

息子が小学校を卒業しました。小さな頃は中学生くらいになれば、心身ともに成長してきて、親の出番はあまりなくなるのだろうと思っていました。確かに小学生の息子は自分で出来ることがどんどん増え、手が離れた部分もあります。その一方で、成長とともに抱える悩みが複雑になり、ときには私にもアドバイスが難しいときもあります。そんなときは、学校の先生、保健の先生、スクールカウンセラーなどに息子が直接相談できるようお願いすることもあります。

子どもが小さな頃と関わり方は変わって来ましたが、親の出番は、まだまだありそうです。これからも、息子が前向きに人生を送れるように、一緒に悩んだり、励ましたりしながら過ごしていきたいと思っています。

